

**東海大学医学部付属病院では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を使用して
下記の臨床研究を行っています。**

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。
当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

トリプルネガティブ乳癌における Alpha-2-glycoprotein 1 発現の
臨床病理学的意義に関する研究

【研究の目的】

下記の試料・診療情報等を利用し、トリプルネガティブ乳癌での Alpha-2-glycoprotein 1 (ZAG) タンパクの役割、特に術前化学療法の効果予測するためのマーカーとして有効かどうかを検証することを目的としています。

【研究の対象となる方】

2013年1月1日 から 2020年12月31日 までの間に、
当院の乳腺外科でトリプルネガティブ乳癌と診断され、
術前化学療法及び手術を受けられた方です。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2024年3月31日 まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

- ・ 試料： 術前化学療法前に乳癌診断のために採取された乳癌組織標本及び、
術前化学療法後の乳癌手術の際に得られた乳癌組織標本。
- ・ 診療情報等： 家族歴、既往歴、年齢、性別、閉経状況、検体採取日、検体採取部位、TNM 分類、
術前化学療法の種類、画像検査の結果、手術方法、予後、術前化学療法前後の乳癌
の病理検査の結果

【研究データの二次利用について】

この臨床研究のデータを別の目的の研究に二次利用する場合があります。その際は新たに研究計画書を作成し、別途臨床研究審査委員会の承認を受けて実施いたします。その場合もあなたの個人を識別できるような情報が漏れることはありません。

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：5174）

研究責任者 乳腺外科 花村 徹

問い合わせ担当者 乳腺外科 事務局 花村 徹